

令和 8 年 6 月 1 日

氷見市長 菊 地 正 寛 様

氷見市総合計画審議会
会長 森 口 毅 彦

第 9 次氷見市総合計画基本構想の変更について（答申）

令和 8 年 3 月 3 0 日付け未第 2 4 3 号をもって当審議会に諮問のありました第 9 次氷見市総合計画後期基本計画の策定に当たり、本市を取り巻く社会環境等が大きく変化していることから、基本構想を変更して、現実的で実効性のある基本計画を策定する必要があると考え、慎重に審議した結果、変更する基本構想について下記の意見を付して別添のとおり答申します。

記

- 1 本構想は、本市の進むべき基本的方向を見極め、持続可能なまちづくりの指針となるものです。人口減少や少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活様式の変化、さらには能登半島地震の発生など、本市を取り巻く社会環境等が大きく変化している中で、活力と賑わいのあるまちづくりに向けて取り組むべき課題は数多くありますが、市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応しながら、長期的な視点に立ち、氷見らしさを活かしたまちづくりを進められるよう要望します。
- 2 総合計画の推進にあたっては、行政がリーダーシップをとりつつも、市の目指すまちづくりの基本理念や将来都市像を市民、事業者、行政等で共有することが重要です。そのためには、より多くの市民、事業者に総合計画を知ってもらうことが大切であり、周知・啓発に力を注がれるよう要望します。